真木和泉守保臣

十

十二月廿六日

三月廿日

勅答

異義之事

神宮御代之儀

人心帰向之趣

慶長以来

神国

仰出之

戊午五月十日

平保臣謹写

一天下の事治乱興亡部て機微形と成り